

2008年7月期 中間決算説明会



シーシーエス株式会社
(ジャスダック 証券コード6669)

2008年3月11日(火)

本日のテーマ

1. 企業概要

2. 事業環境・シェア

3. 当社の強み

4. 2008年7月期中間期連結決算概況

5. 2008年7月期経営計画

6. 当社の経営戦略

企業理念

光を科学し、社会に貢献する

お客様の満足を高めるために
技術と製品をひたむきに追求し、
それを具現化することで社会の役に立ちたい

CCS (Creative Customer Satisfaction)

お客様の満足を高めるためにCCSは存在します
—創業当初から「お客様へ愛と感謝」を社是として掲げる—

事業領域

顕微鏡用
照明分野



メディカル
分野



工業用LED照明事業



バイオ分野

商業用・
民生用照明
分野



工業用LED照明事業

□ 画像処理用LED照明の開発・製造・販売



電子・半導体業界向け



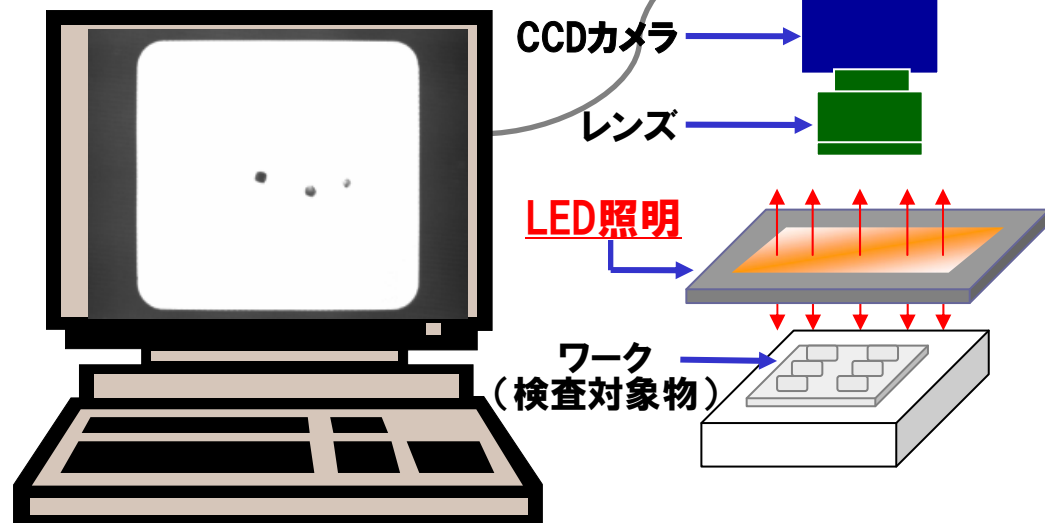
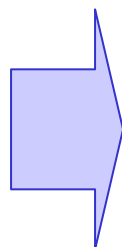
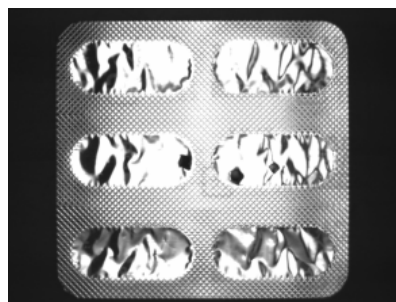
三品（食品・医薬品・化粧品）業界向け



自動車業界向け

電子・半導体業界向けが
売上高の約半分を占める

最近では三品業界向けの割合
が増加している



〔撮像例：薬のブリスタパック〕

本日のテーマ

1. 企業概要
2. 事業環境・シェア
3. 当社の強み
4. 2008年7月期中間期連結決算概況
5. 2008年7月期経営計画
6. 当社の経営戦略

画像処理市場の状況①

□製造のスピード化／品質・安全性重視

- 品質検査などを人の眼で行っていた企業が画像処理を導入するケースが増えている

□製品ニーズの多様化

- 製品サイクルが短いためラインの入替えサイクルが早まっている
- 画像処理の用途が拡大している

画像処理用照明市場の成長率 年5～10%

画像処理市場の状況②

□環境志向

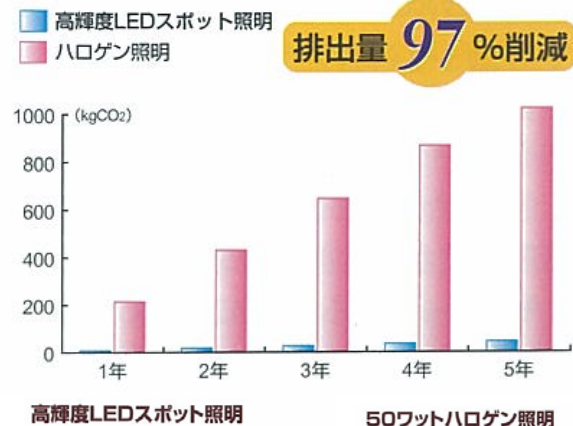
- CO₂排出量削減のため低消費電力のLED照明へ他光源（ハロゲン照明や蛍光灯）から置き換えを行うケースが増えつつある

画像処理用照明
市場の成長

+

他光源から
LEDへの置換えが加速

二酸化炭素の排出量比較

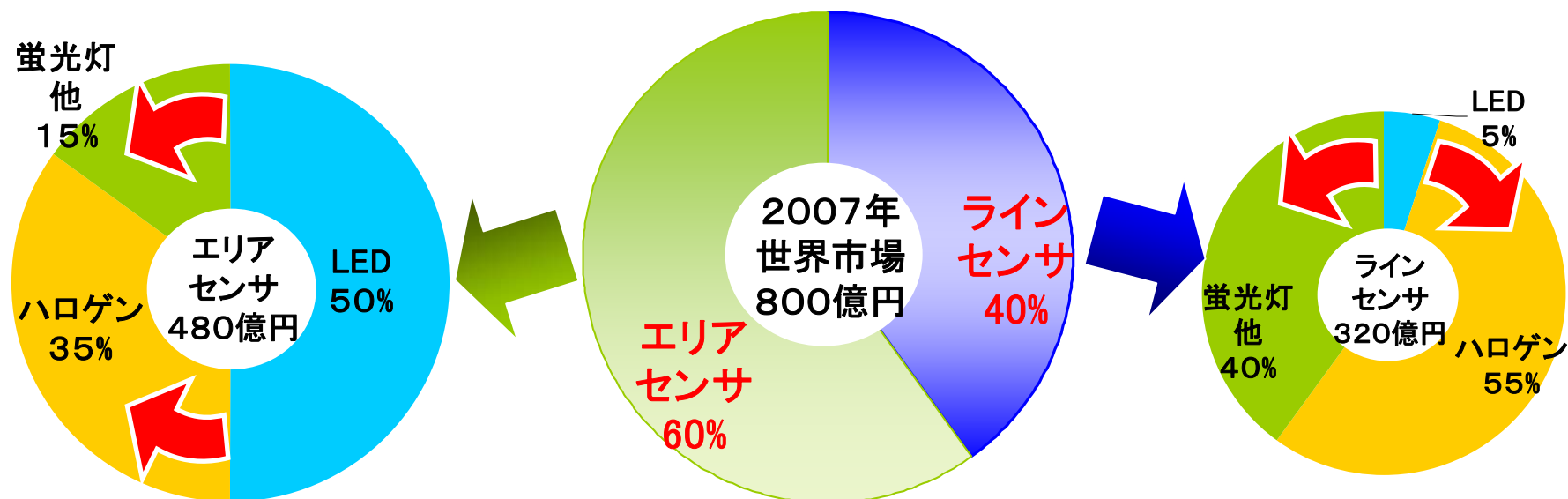


※電気消費量に対して排出係数(1kWhにつき0.555kgCO₂)を掛け合わせることで算出

画像処理用照明の市場規模(光源別)

エリアセンサ市場においてはLED化が進む

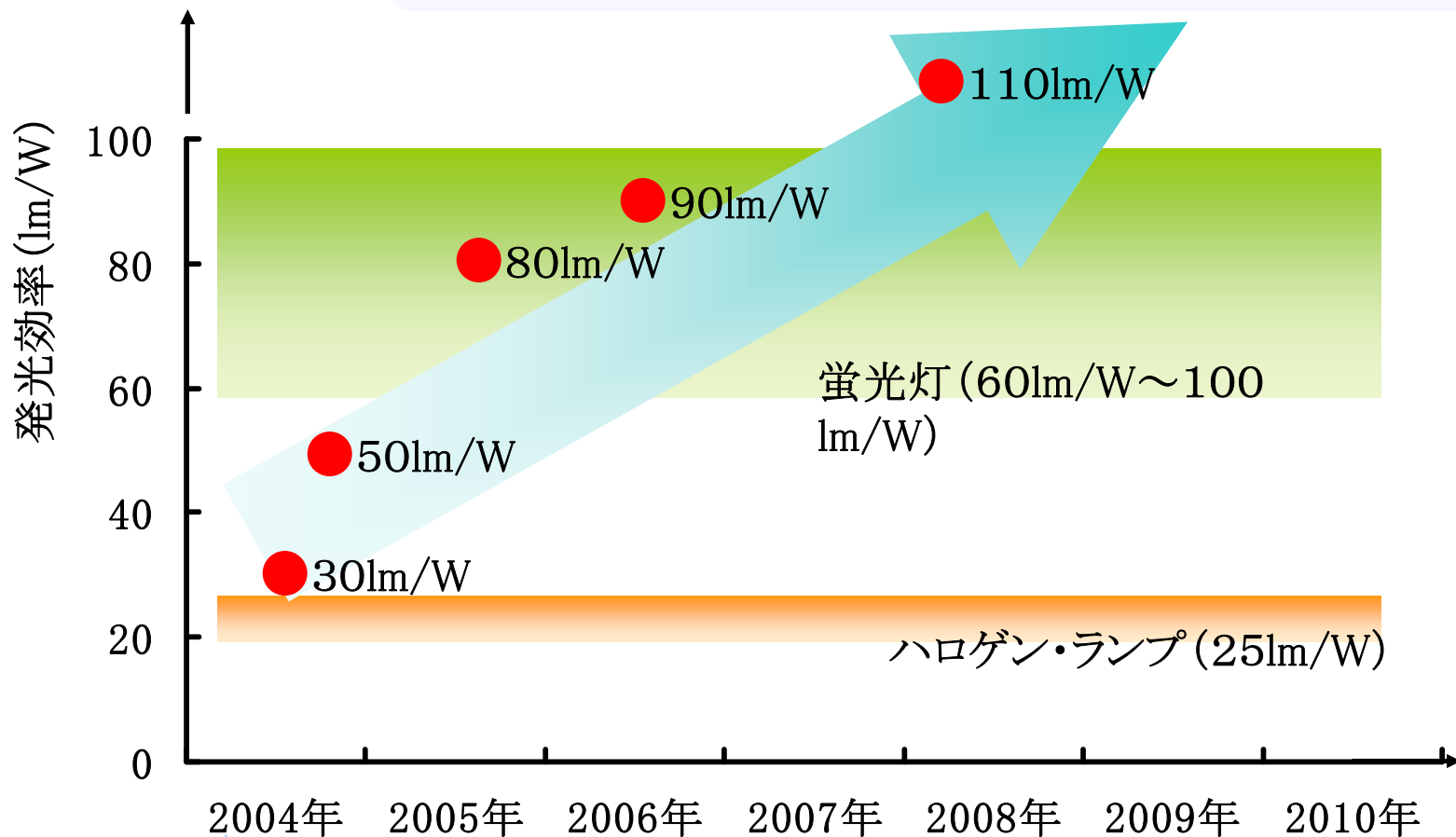
ラインセンサ用LED照明市場は今後の期待市場



* 当社推計

LEDの発光効率の向上

近年、高速での撮像に対応可能となった



* 出展: 日経エレクトロニクス 2005/4/25号

LEDの特長

● 寿命

- ハロゲンに比べて10倍以上

● 消費電力

- ハロゲンに比べ1/50～1/100

寿命比較

■ 高輝度LEDスポット照明
■ ハロゲン照明

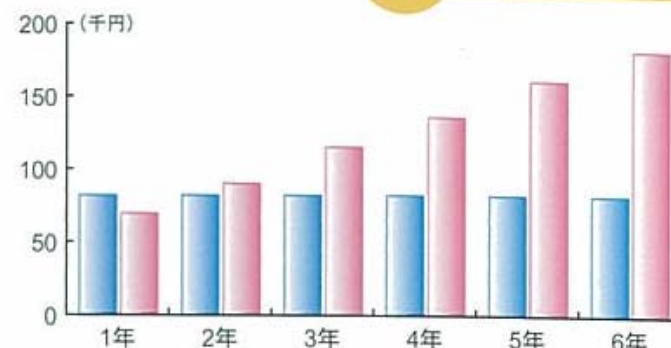
長寿命 **10** 倍以上



トータルランニングコスト比較

■ 高輝度LEDスポット照明
■ ハロゲン照明

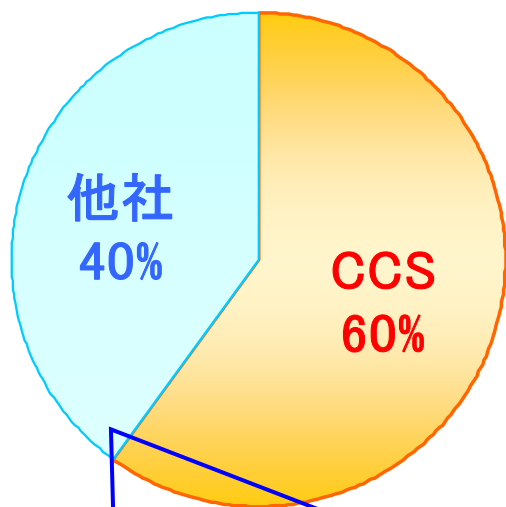
2 年目でコスト逆転



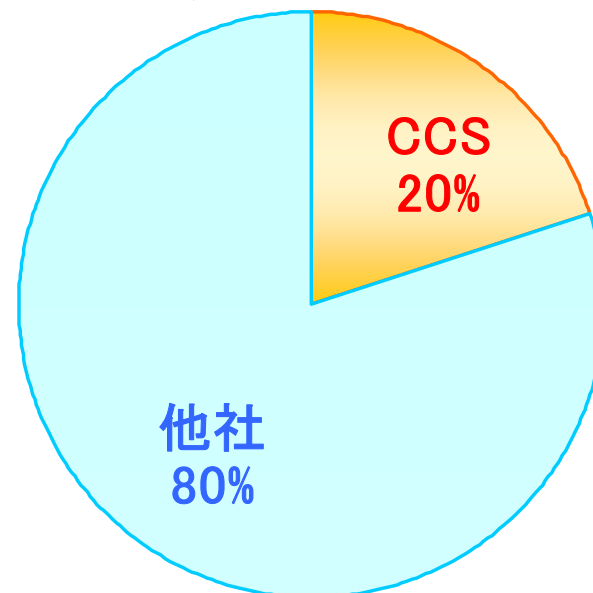
※50ワットハロゲン照明と高輝度LEDスポット照明 HLV-24RD (赤色光) を電源調光MAXで24時間点灯した場合の比較。電気料金は1kWh/月につき9円で計算(基本料金は除く)。

当社シェア

画像処理用LED照明で
国内シェア1位



画像処理用LED照明で
世界シェア1位



最近の競合動向について

- ・ハロゲン照明メーカーがLED照明に注力し始める
- ・従来からLEDに特化するLED照明装置メーカーは数社のみ

* 当社推計

本日のテーマ

1. 企業概要
2. 事業環境・シェア
- 3. 当社の強み**
4. 2008年7月期中間期連結決算概況
5. 2008年7月期経営計画
6. 当社の経営戦略

シーシーエスのトータルソリューション

□ 様々な検査対象物に最適なライティングを提案

- 40,000件の撮像データを活用したライティング提案
【ライティング技術】
- 標準品400種類の照明ラインアップ【豊富な製品ラインアップ】
- お客様の個別ニーズに月平均80件対応【カスタム対応力】

シーシーエスの
トータルソリューション

ライティング技術
撮像データ
40,000件

豊富な製品ラインアップ
標準品400種類

カスタム対応力
月平均80件

ライティング技術とは

⇒見えないものを見えるようにすること



照明の当て方次第で目的は達成できる



照明は画像処理検査の命

ライティング事例①

しょうゆボトル内の異物検査(可視光照明で撮像)



この撮像例は総てCCSが市場にて購入、加工したものを撮像したものです。

ライティング事例①

しょうゆボトル内の異物検査(赤外光照明で撮像)



この撮像例は総てCCSが市場にて購入、加工したものを撮像したものです。

ライティング事例②

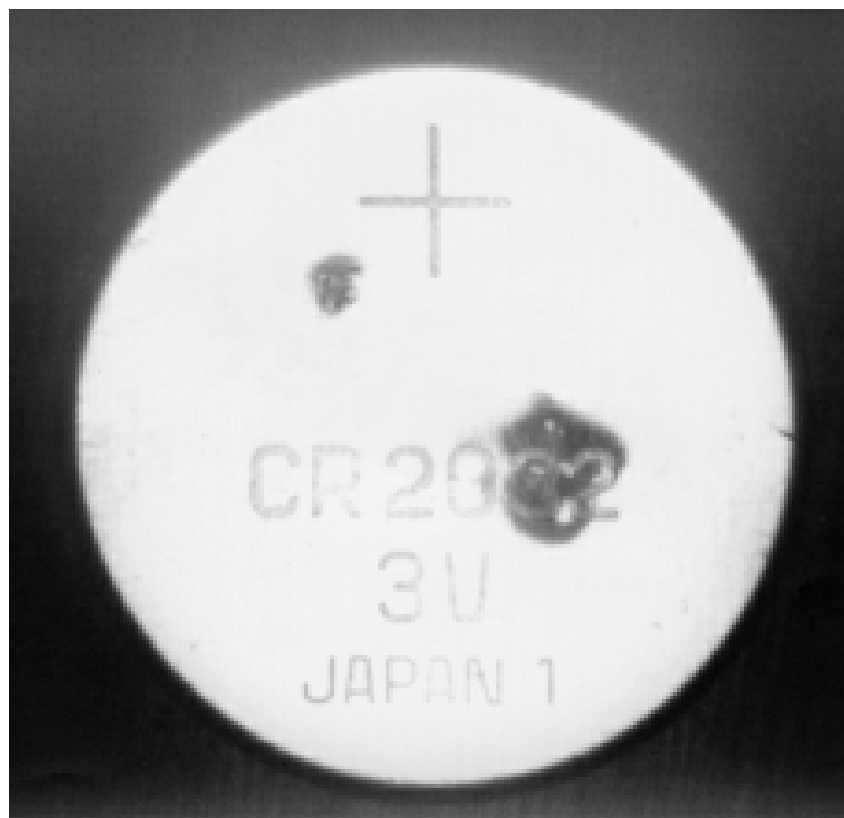
ボタン電池のへこみ検査(同軸照明で撮像)



この撮像例は総てCCSが市場にて購入、加工したものを撮像したものです。

ライティング事例②

ボタン電池のへこみ検査(平行光ユニットで撮像)



この撮像例は総てCCSが市場にて購入、加工したものを撮像したものです。

ライティング事例③

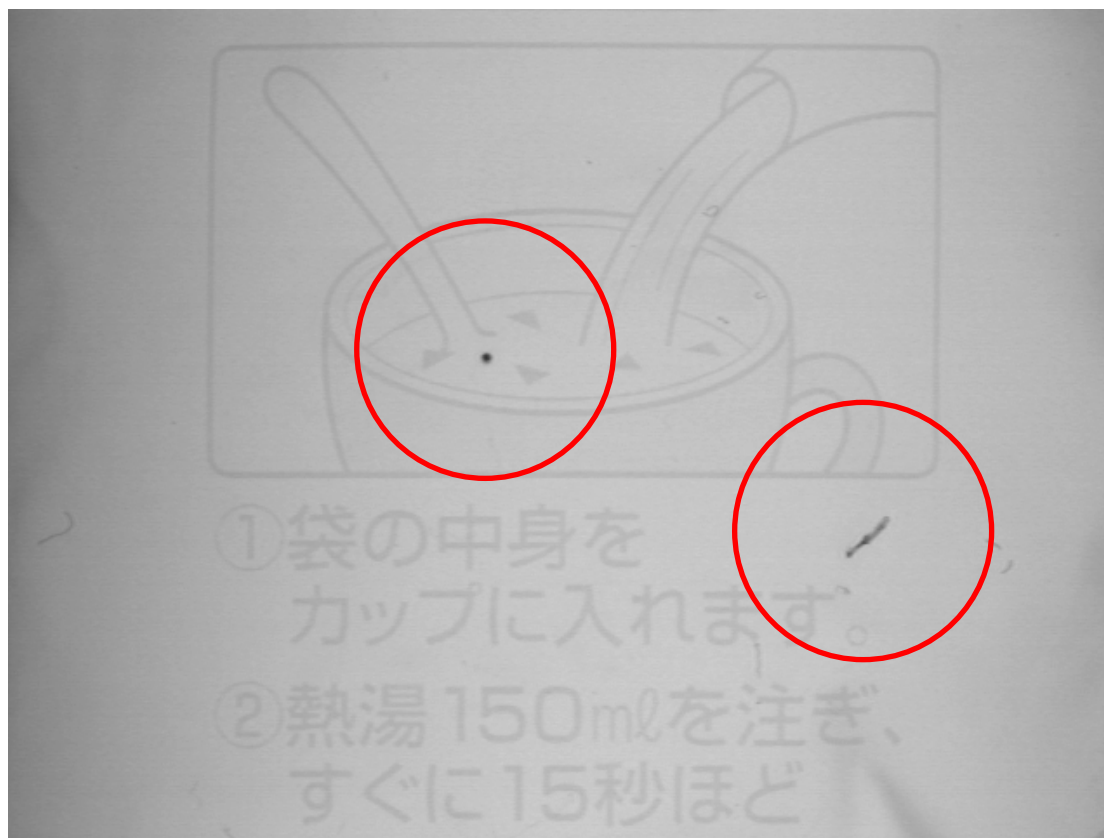
アルミパック検査(通常の照明にて撮像)



この撮像例は総てCCSが市場にて購入、加工したものを撮像したものです。

ライティング事例③

アルミパック検査(特殊照明にて撮像)



この撮像例は総てCCSが市場にて購入、加工したものを撮像したものです。

本日のテーマ

1. 企業概要
2. 事業環境・シェア
3. 当社の強み
- 4. 2008年7月期中間期連結決算概況**
5. 2008年7月期経営計画
6. 当社の経営戦略

連結損益計算書の概要

単位:百万円 ()内:対売上比

	2007/7 中間期	2008/7 中間期	前年同期比	当初計画比
売上高	2,526	2,723	108%	96%
売上原価	951(37.6%)	940(34.5%)	99%	94%
売上総利益	1,575(62.4%)	1,783(65.5%)	113%	96%
販売管理費	1,195(47.4%)	1,368(50.3%)	114%	86%
営業利益	379(15.0%)	414(15.2%)	109%	166%
経常利益	392(15.5%)	401(14.7%)	102%	167%
当期純利益	219(8.7%)	261(9.6%)	119%	180%

■売上高 前年同期比108% (当初計画比96%)

■売上原価率 前年同期比3.1ポイント改善

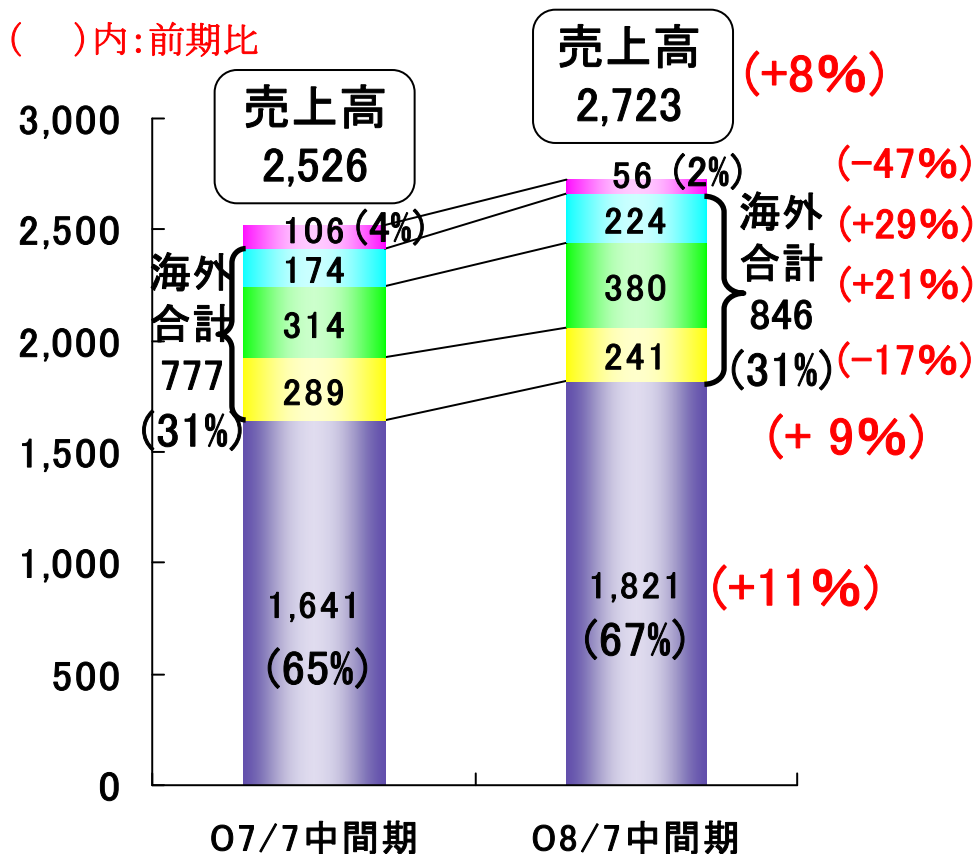
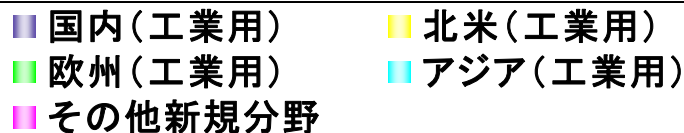
■販売管理費 前年同期比114% (当初計画比86%)

組織強化のための人件費増加／研究開発費の増加／「シーシーエス
光技術研究所」建設およびテストングルーム開設に伴う費用の増加

■経常利益 前年同期比102%

地域別売上高(連結)

()内:前期比

(単位:
百万円)

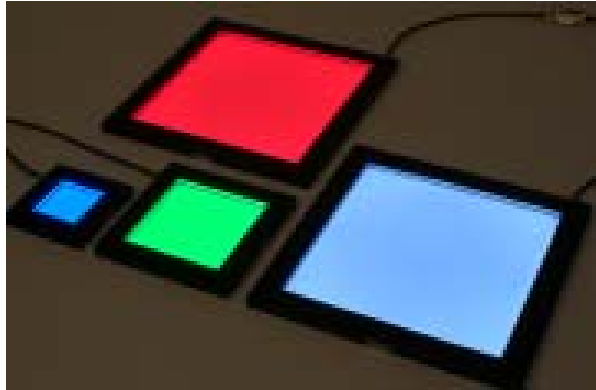
【要因】

- 日本においては大口案件が増加
国内4拠点のテストングルームを展開
ソリューション提案を充実
- 北米はサブプライムローン問題に伴う
景気悪化懸念から買控えの影響を受けて
受注が減少
- 欧州が好調に推移
電子・半導体関連メーカーを中心に
カスタム対応が増加
- アジアが徐々に売上寄与
各国における販売活動により、
売上寄与が拡大
中国:継続的な販売活動を通じて
様々な用途向けに導入進む
東南アジア各国:
販売活動を開始する

市場環境(外部要因)

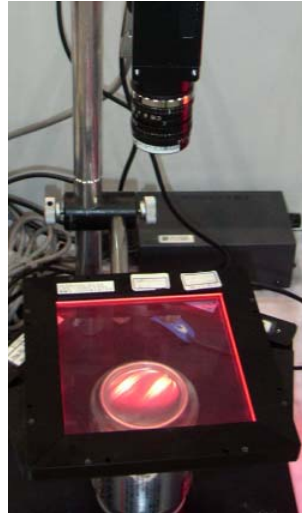
- 国内各社の業況感の二極化
- 国内における電子・半導体業界の設備投資は活発化
 - ＜特にゲーム機、携帯オーディオ、携帯電話関連＞
- 国内における食品業界の品質管理重視の動き
- アジアにおける画像処理導入の動き

主要製品(食品・医薬品・化粧品業界向け)



独自の照射構造【特許出願済】

フラット・ドーム照明
「LFXシリーズ」
〔2005年9月発売〕



〔用途例〕
パッケージ、容器、錠剤などの
印字・印刷検査



独自の照射構造【特許出願済】

従来品の3～5倍明るい
高輝度均一拡散光LED照明
ハイパワーライト全12機種
〔2007年6月発売〕



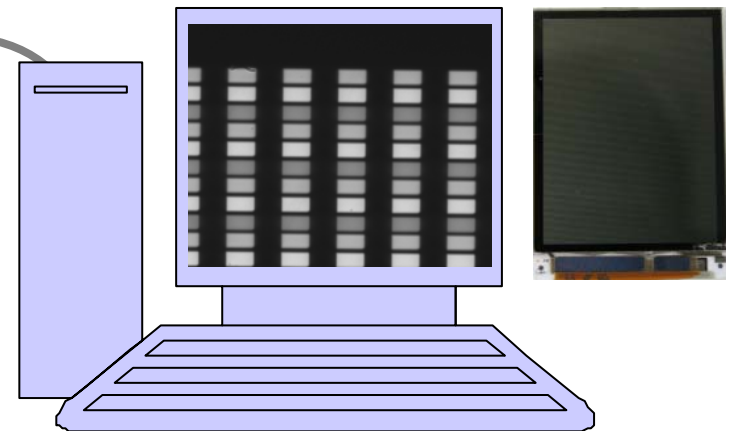
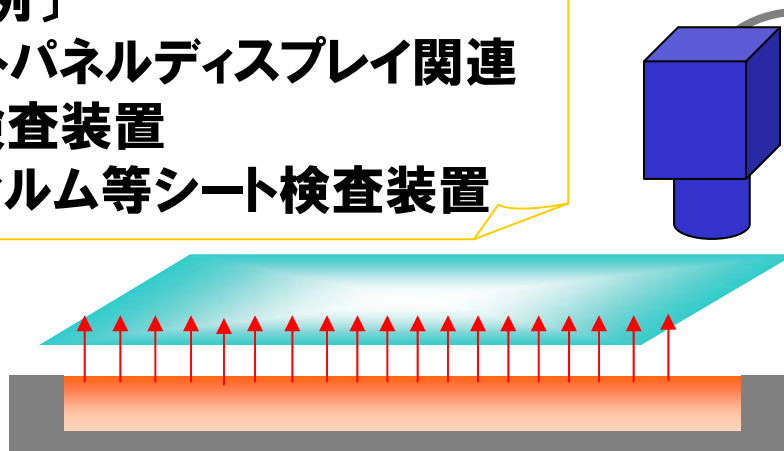
主要製品(ラインセンサ照明市場向け)



ラインセンサカメラ用
LED照明「HLNDシリーズ」
独自の照射構造および放熱構造
【特許出願済】
〔2005年12月発売〕

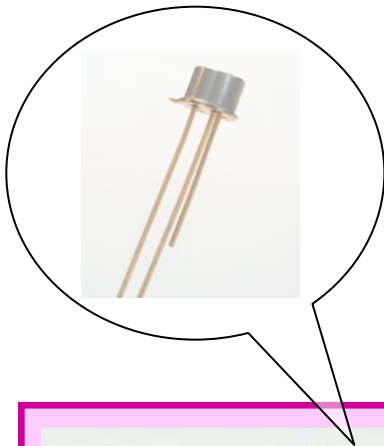


〔用途例〕
フラットパネルディスプレイ関連
基板検査装置
紙・フィルム等シート検査装置

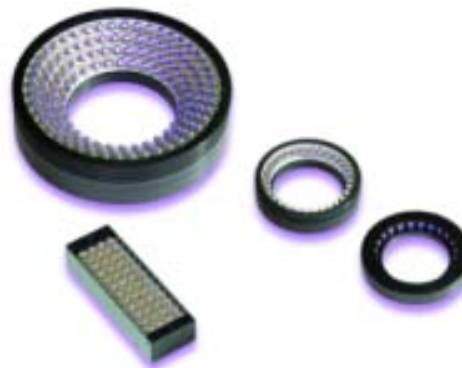


〔撮像例:携帯電話のカラーフィルター〕

主要製品(不可視光領域)



オリジナル紫外光LED
スパーク防止構造
【特許出願済】



**紫外光LED照明
UVシリーズ
全31機種**
〔2006年9月発売〕

〔用途例〕
表面の微細な
キズ検査



**赤外光LED照明
IRシリーズ
全32機種**
〔2006年9月発売〕

〔用途例〕
食品パッケージの外観
検査
ペットボトル内の異物
混入検査

<紫外光は散乱率が高い> <赤外光は透過率が高い>

国内における拠点戦略

お客様の近くで 即時にソリューション提案



本社・テストングルーム
(京都市上京区)



仙台テストングルーム
(三井生命仙台本町ビル13F)
2007年11月開設



東京営業所・テストングルーム
(高輪台グリーンビル8,9F)
2007年
6月増床



名古屋テストングルーム
(ルーセントタワー40F)
2007年6月開設

海外における拠点戦略

各国ニーズに対応／ソリューションの充実



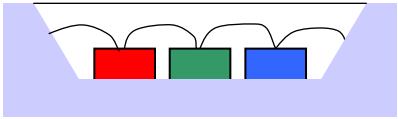
オリジナルLEDの開発・設計および生産体制の確立

オリジナルLED
対象パッケージ

オリジナルLED搭載製品例


ビジネスモデル

SMT
(Surface Mount Type)
LED




新規パッケージ実装
技術の導入

砲弾型LED



- ・ライン照明
- ・光源ボックス
- ・顕微鏡用照明
- ・民生用照明
- ・その他応用



CCS照明製品に最適なLED
デバイスの開発・設計・製造の
一貫体制の確立



- ✓ LED自身の機能・性能向上
- ✓ 他社との圧倒的な差別化
- ✓ 先行特許出願による業界
No.1の堅持・マーケット創造

7月までに試験生産開始予定
来期(2009年7月期)
量産化予定

オリジナルLEDによる第1号の照明として
「自然光LED照明」の試作品(目視検査用途)を2007年11月に完成!



世界最高レベルの演色性を
実現した「自然光LED照明」
(平均演色評価数:98)



蛍光灯リング照明
(平均演色評価数:70)



これまでLED照明として発表されたものでは、色の再現性を示す平均演色評価数95が世界最高でしたが、山口大学との共同研究で独自の製造方法により演色評価数を98まで上げることに成功しました。



「白色LEDと固体照明国際会議」に
この「自然光LED照明」を出展
(照明学会主催・2007年11月28～29日
ホテルパシフィック東京)

LED Next Stageに出展(東京ビッグサイト3/4-7)



世界初、照射範囲を自由に変更できる
「可変式LEDスポットライト」を出展

<2008年夏の商品化>

【主な特徴】

1. 照射範囲が10度～25度で、照射対象物に合わせて自由に変更可能
2. 商品や芸術品や人にやさしい光
LEDは紫外線や熱線がほとんど出ないため、照射対象物を傷めない

【ターゲット市場】

店舗用途(服飾、食品、飲食業界等)。
自然光タイプは化粧品や宝飾品売場、美術館・博物館用途などを対象とする。

LED Next Stageに出展(東京ビッグサイト3/4-7)



コラボ1

唐紙屋・唐長(京都市左京区)



コラボ2

京和傘・日吉屋(京都市上京区)



京都の伝統と
ハイテクの融合



コラボ3

和紙・型絵染工房(京都市右京区)

新規分野の開発促進の状況

□ 顕微鏡光源用LED照明の開発・製造・販売

- 工場の検査向け
- 研究所向け



□ 植物育成用LED照明の開発・製造・販売

- 官公庁・大学・企業の研究所向け
- 植物工場向け



□ 医療用LED照明応用製品の開発・製造・販売

- 病院向け

研究・開発中

□ 商業用・民生用LED照明の開発・製造・販売

- イベント向け
- 商業施設向け
- 家庭向け

研究・開発中
試作品を各種イベントに活用

研究開発の状況(連結)

	04/7 通期	05/7 通期	06/7 通期	07/7 通期	07/7 中間期	08/7 中間期
研究開発費	166	323	365	428	190	211(+11%)
対売上比率	5.0%	8.7%	7.6%	8.3%	7.5%	7.7%(+0.2ポイント)

()内:前年同期比 単位:百万円

□ 工業用LED照明事業

- 大型ハイパワーライト全12機種
— 2008年3月3日に発売開始



□ オリジナルLEDの開発・設計および生産

- オリジナルLEDの生産ノウハウの蓄積
- 「自然光LED」を使った照明の開発—開発中



□ 新規事業

- 顕微鏡用照明/植物育成用照明—カスタム対応・標準対応
- 医療用照明/商業用・民生用照明—開発中

設備投資の状況(連結)

(単位:百万円)

	04/7 通期	05/7 通期	06/7 通期	07/7 通期
設備投資	521	267	146	485
有形固定資産	515	239	87	452
無形固定資産	6	27	59	33
減価償却	44	74	99	106

07/7 中間期	08/7 中間期
315	376
294	364
21	12
55	67

設備投資額
当初計画比
22%減
(当初計画:
483百万円)

- ・新研究棟の土地取得
- ・生産センターの新設費用
- ・名古屋テストイングループ開設費用

システム投資

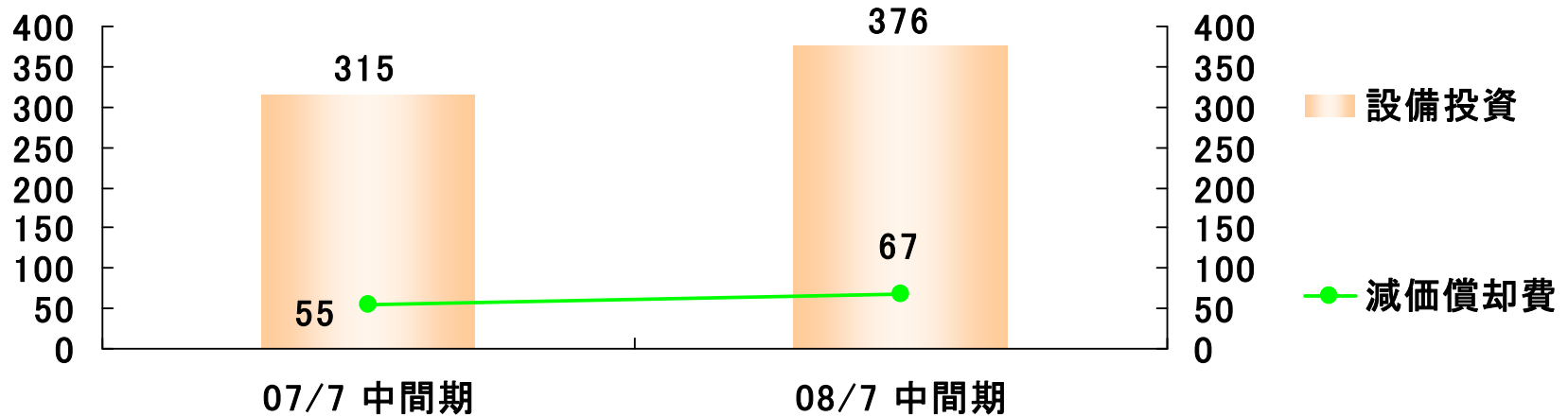
生産・開発の設備等

植物実験プラントの取得
(2007年7月末に譲渡)

本社屋の取得

- ・オリジナルLEDの開発・生産体制の確立にむけて進行中
- ・シーシーエス光技術研究所を建設(2007年12月竣工)
- ・その他研究開発・生産設備などの取得

主な投資内容



オリジナルLEDの開発・生産設備
(写真は設備を使って開発した
試作品)



光技術研究所 植物研究室



光技術研究所 外観



貸借対照表(連結)

資産	07/7 中間期	08/7 中間期	負債・純資産	07/7 中間期	08/7 中間期
現金及び預金	753	899	流動負債	978	947
受取手形・売掛金	1,335	1,582	固定負債	255	701
たな卸資産	730	730			
その他	28	143			
流動資産合計	2,914	3,431	負債合計	1,234	1,648
有形固定資産	990	1,163	資本金	457	459
無形固定資産	123	107	資本剰余金	573	574
投資その他の資産	65	142	利益剰余金	1,813	2,245
			自己株式	—	△74
			為替換算調整勘定	14	△9
固定資産合計	1,179	1,413	純資産合計	2,859	3,196
資産合計	4,093	4,844	負債・純資産 合計	4,093	4,844

【資産の部】

□売上債権の
増加□有形固定資産
(シーシーエス
光技術研究所)
の取得□投資その他
の資産(差入保証金)
の増加【負債・純資産の
部】□長期借入金の
増加□利益剰余金の
増加

(単位:百万円)

キャッシュフロー(連結)

	07/7 中間期	08/7 中間期
営業活動によるCF	73	241
税金等調整前中間純利益	391	398
減価償却費	55	67
役員退職慰労引当金の増減額	△95	—
売上債権の増減額	87	△107
たな卸資産の増減額	△96	△10
仕入債務の増減額	△35	47
法人税等の支払額	△185	△110
投資活動によるCF	△302	△311
有形固定資産取得による支出	△283	△364
有形固定資産売却による収入	20	66
無形固定資産取得による支出	△14	△11
財務活動によるCF	129	391
長期借入金による収入	—	450
現金及び現金同等物の当期末残高	726	870

【営業活動によるCF】

- 役員退職慰労金制度の廃止
- 売上債権の増加
- 仕入債務の増加

【投資活動によるCF】

- 有形固定資産取得による支出の増加
- 有形固定資産売却による収入(植物育成実験プラント売却・2007年9月)

【財務活動によるCF】

- 長期借入金の返済
- 長期借入金による収入

(単位:百万円)

本日のテーマ

1. 企業概要
2. 事業環境・シェア
3. 当社の強み
4. 2008年7月期中間期連結決算概況
- 5. 2008年7月期経営計画**
6. 当社の経営戦略

通期の業績計画(連結)

(単位:百万円) ()内:対売上比

	2007/7 上期実績	2007/7 下期実績	2007/7 通期実績	2008/7 上期実績	2008/7 通期計画	07/7 期比
売上高	2,526	2,659	5,185	2,723	5,800	112%
国内(工業用)	1,641(65.0%)	1,696(63.8%)	3,337(64.4%)	1,821(67.0%)	3,840(66.2%)	115%
海外(工業用)	777(30.8%)	853(32.1%)	1,630(31.4%)	846(31.1%)	1,850(31.9%)	113%
新規事業	106(4.2%)	112(4.2%)	218(4.2%)	56(2.1%)	110(1.9%)	50%
売上総利益	1,575(62.4%)	1,659(62.4%)	3,234(62.4%)	1,783(65.5%)	3,750(64.7%)	116%
販売管理費	1,195(47.4%)	1,329(50.0%)	2,524(48.7%)	1,368(50.3%)	2,950(50.9%)	117%
営業利益	379(15.0%)	331(12.4%)	710(13.7%)	414(15.2%)	800(13.8%)	113%
経常利益	392(15.5%)	329(12.4%)	721(13.9%)	401(14.7%)	780(13.4%)	108%
当期純利益	219(8.7%)	212(8.0%)	431(8.3%)	261(9.6%)	500(8.6%)	116%
研究開発費	190(7.5%)	238(9.0%)	428(8.3%)	211(7.7%)	565(9.7%)	132%
減価償却費	55(2.2%)	51(1.9%)	106(2.0%)	48(1.8%)	120(2.1%)	113%
設備投資額	315(12.4%)	170(6.4%)	485(9.4%)	376(13.8%)	550(9.5%)	113%

2008年7月期重点目標

- 〔1〕グローバルトータルソリューションの充実により売上高を伸ばす
- 〔2〕工業用LED照明事業における市場攻略をスピードアップ
- 〔3〕オリジナルLEDの開発・設計および生産体制の確立
- 〔4〕新規分野の事業化のスピードを上げる
- 〔5〕QCDSの継続的改善により、顧客満足最大化を目指す
- 〔6〕環境にやさしい・人にやさしい照明づくりを追求する
- 〔7〕内部統制制度の導入を完遂する

本日のテーマ

1. 企業概要
2. 事業環境・シェア
3. 当社の強み
4. 2008年7月期中間期連結決算概況
5. 2008年7月期の経営計画
- 6. 当社の経営戦略**

シーシーエスの長期ビジョン**新たな光産業を創出し、光の世界企業を目指す****□コア技術の強化** ～付加価値の高い製品を生み出す～

- LEDの機能・性能向上のための研究開発
- オリジナルLEDの生産体制の確立 **自社製品にのみ搭載する**

□既存事業の拡大 ～強みを活かして範囲を広げる～

- 国内・海外において新規アプリケーション向けにソリューションビジネスを展開
- 新製品による新市場の開拓

□新規分野の事業化～新規市場を立ち上げる～

- 新用途(商業用・民生用・医療用)照明の商品化
- 顕微鏡用・植物育成用照明分野の確立

《注意事項》 本説明会にて提供した情報につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。



シーシーエス株式会社

(ジャスダック、証券コード6669)

<http://www.ccs-inc.co.jp>

経営戦略室 広報IR課

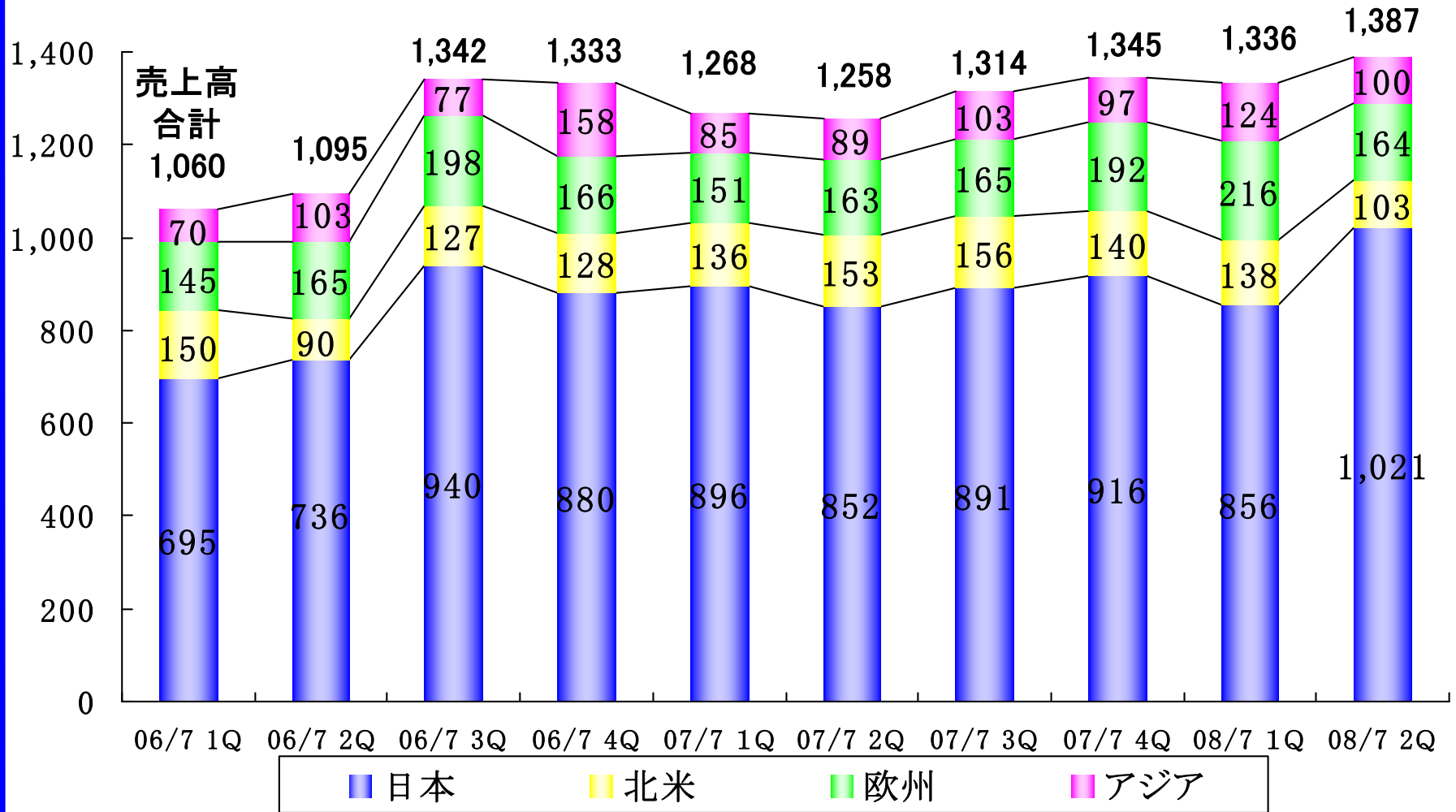
TEL (075)415-8291

FAX(075)415-7724

京都市上京区烏丸通下立売上ル

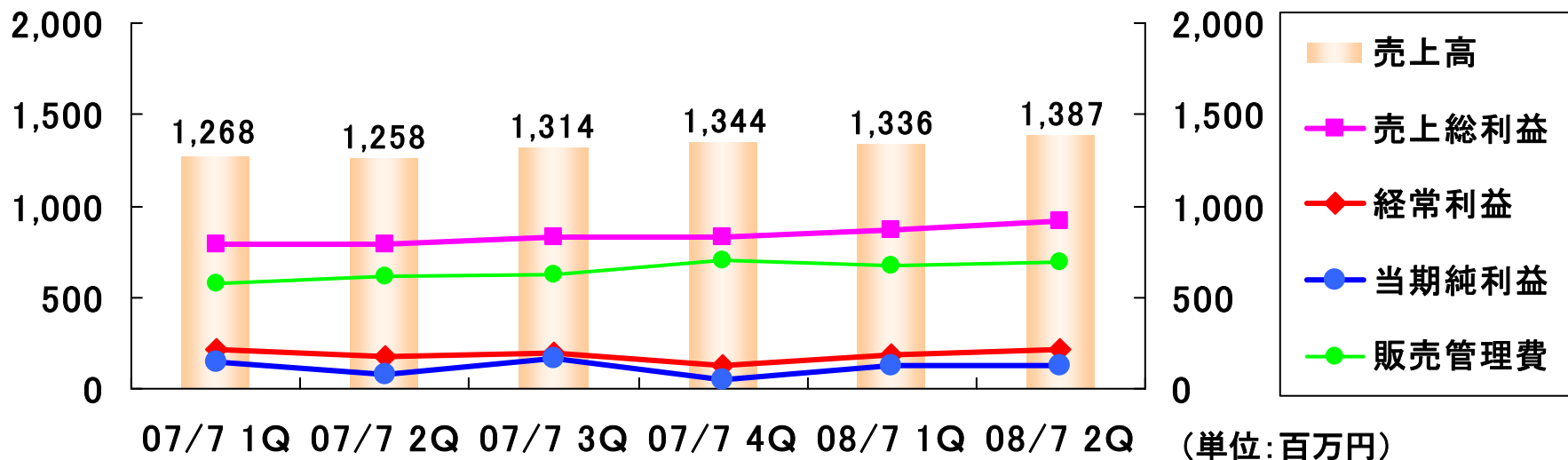
桜鶴円町374番地

地域別売上高(四半期・連結)



利益率推移(連結・四半期)

	07/7 1Q	07/7 2Q	07/7 3Q	07/7 4Q	08/7 1Q	08/7 2Q
売上高	1,268	1,258	1,314	1,344	1,336	1,387
売上総利益	788(62.1%)	787(62.6%)	830(63.2%)	827(61.6%)	868(65.0%)	915(66.0%)
販売管理費	577(45.5%)	618(49.2%)	628(47.8%)	700(52.1%)	676(50.6%)	692(49.9%)
営業利益	210(16.6%)	169(13.4%)	202(15.4%)	127(9.5%)	191(14.3%)	223(16.1%)
経常利益	212(16.7%)	179(14.2%)	200(15.2%)	128(9.6%)	189(14.1%)	212(15.3%)
当期純利益	142(11.2%)	77(6.1%)	163(6.1%)	47(3.5%)	131(9.8%)	130(9.4%)



2008年7月期当初計画数値

(単位:百万円)

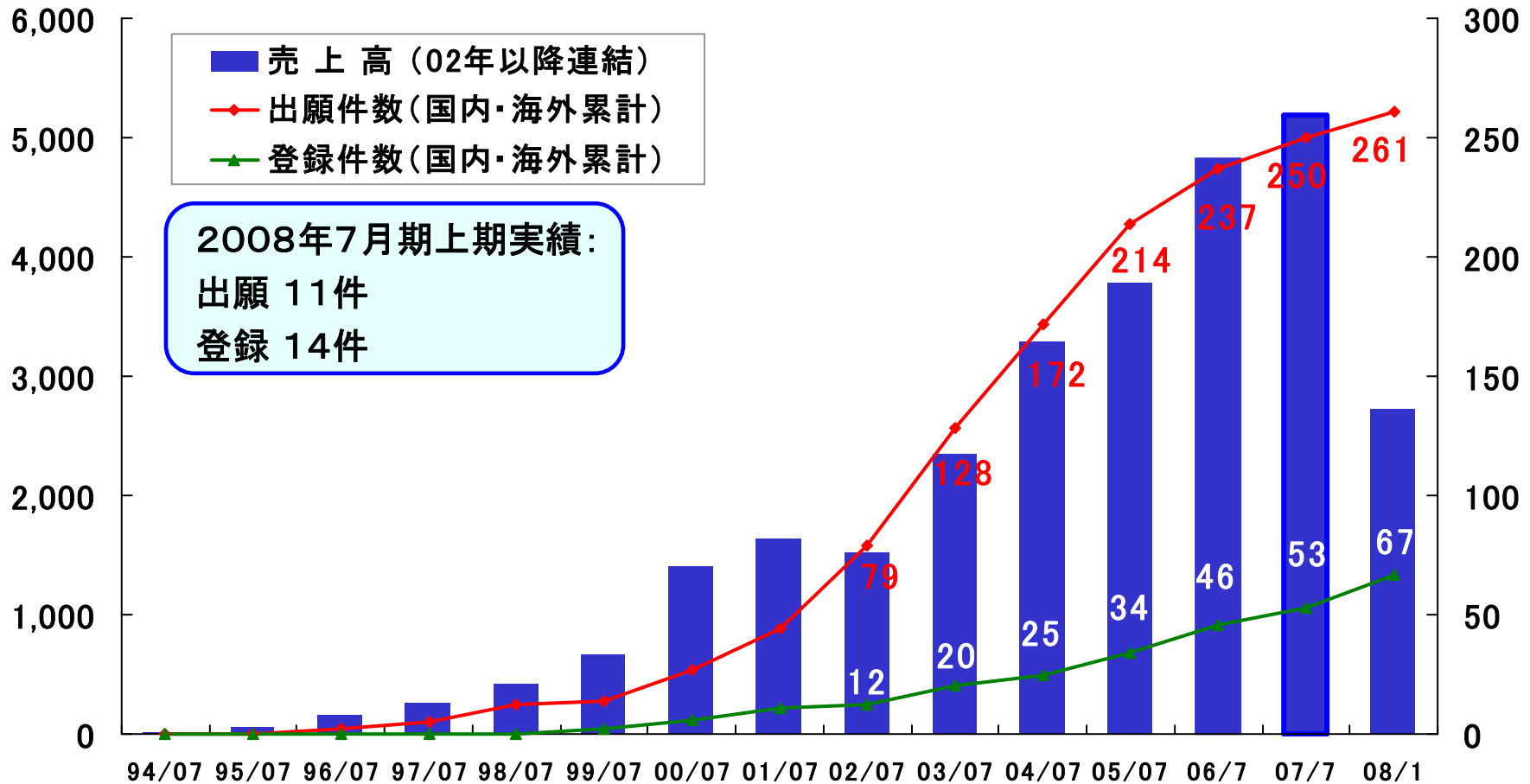
()内:対売上比

	2007/7 上期実績	2007/7 下期実績	2007/7 通期実績	2008/7 上期計画	2008/7 通期計画	07/7 期比
売上高	2,526	2,659	5,185	2,850	6,200	120%
国内(工業用)	1,641(65.0%)	1,696(63.8%)	3,337(64.4%)	1,890(66.5%)	4,000(64.5%)	120%
海外(工業用)	777(30.8%)	853(32.1%)	1,630(31.4%)	830(29.1%)	1,850(29.8%)	113%
その他	106(4.2%)	112(4.2%)	218(4.2%)	130(4.6%)	350(5.7%)	160%
売上総利益	1,575(62.4%)	1,659(62.4%)	3,234(62.4%)	1,850(64.9%)	4,010(64.6%)	124%
販売管理費	1,195(47.4%)	1,329(50.0%)	2,524(48.7%)	1,600(56.1%)	3,220(51.9%)	128%
営業利益	379(15.0%)	331(12.4%)	710(13.7%)	250(8.8%)	790(12.7%)	111%
経常利益	392(15.5%)	329(12.4%)	721(13.9%)	240(8.4%)	770(12.5%)	107%
当期純利益	219(8.7%)	212(8.0%)	431(8.3%)	145(5.1%)	470(7.7%)	109%
研究開発費	190(7.5%)	249(9.4%)	428(8.3%)	319(11.2%)	541(8.7%)	126%
減価償却費	55(2.2%)	61(2.3%)	106(2.0%)	48(1.7%)	126(2.0%)	119%
設備投資額	315(12.4%)	420(15.8%)	485(9.4%)	483(16.9%)	605(9.8%)	125%

特許出願・登録の推移

(単位: 百万円)

(単位: 件)



主力製品と特許

□リング照明「LDR2シリーズ」

●製造技術

生産の効率化および
品質の向上が実現



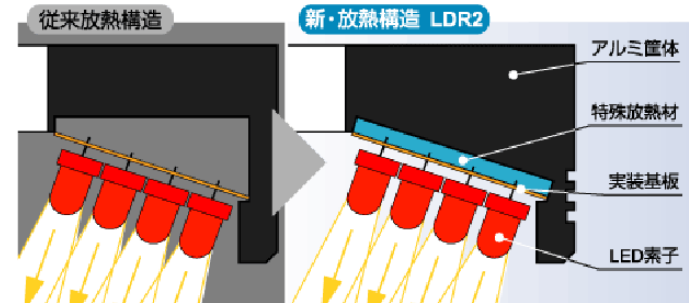
＊FFC方式（フレキシブル基板
フォールトコニック方式）
【特許登録済・1999年】



〔2002年12月発売〕

●放熱技術

劣化しにくいので
長期間品質を保つことができる



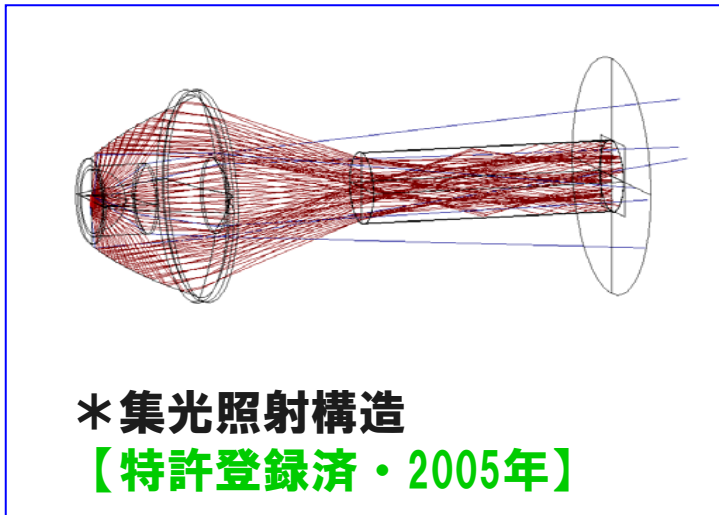
＊特殊放熱構造【特許登録済・2002年】

主力製品と特許

□高輝度スポット照明「HLVシリーズ」

●集光技術

LEDの光を集光して
ハロゲン照明以上の明るさを向上



〔2001年12月発売〕

主力製品と特許

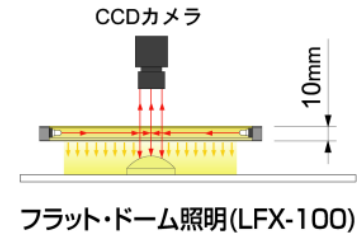
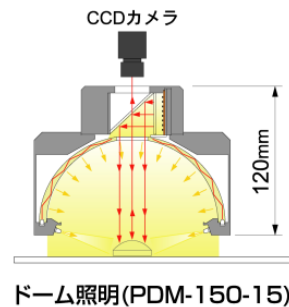
□フラット・ドーム照明「LFXシリーズ」

●照明技術

10mmの薄型設計・軽量コンパクト
で均一無影拡散光照射を実現



〔2005年9月発売〕



なぜLEDへの置き換えが進むの？

光源 評価ポイント	 LED	 ハロゲン	 蛍光灯
明るさ	○	◎	○
寿命 ⇒品質の安定性 ⇒効率性	◎ 30,000時間 ハロゲンの10倍以上	× 50～2,000時間	△ 1,500～10,000時間
形の自由度	◎	△	×
応答速度	◎	×	×
環境対応	◎ 有害物質を含まない 消費電力が低い	△ 消費電力が高い	× 水銀を含む

会社概要

- 商号 シーシーエス株式会社
- 本社所在地 京都府京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町374
- 代表者 代表取締役社長 米田 賢治
- 創業 1992年
- 設立 1993年10月
- 資本金 4億5,945万円
- 従業員数 連結 238名
- 発行済株式総数 20,600株
- 株主数 3,018名
- 連結子会社 3社
- 拠点数 CCS America, Inc. / RDV (S) PTE LTD / CCS Europe NV
国内 6ヵ所 / 海外(連結子会社含む) 5ヵ所



本社(京都市上京区)

(2008年1月末現在)

沿革

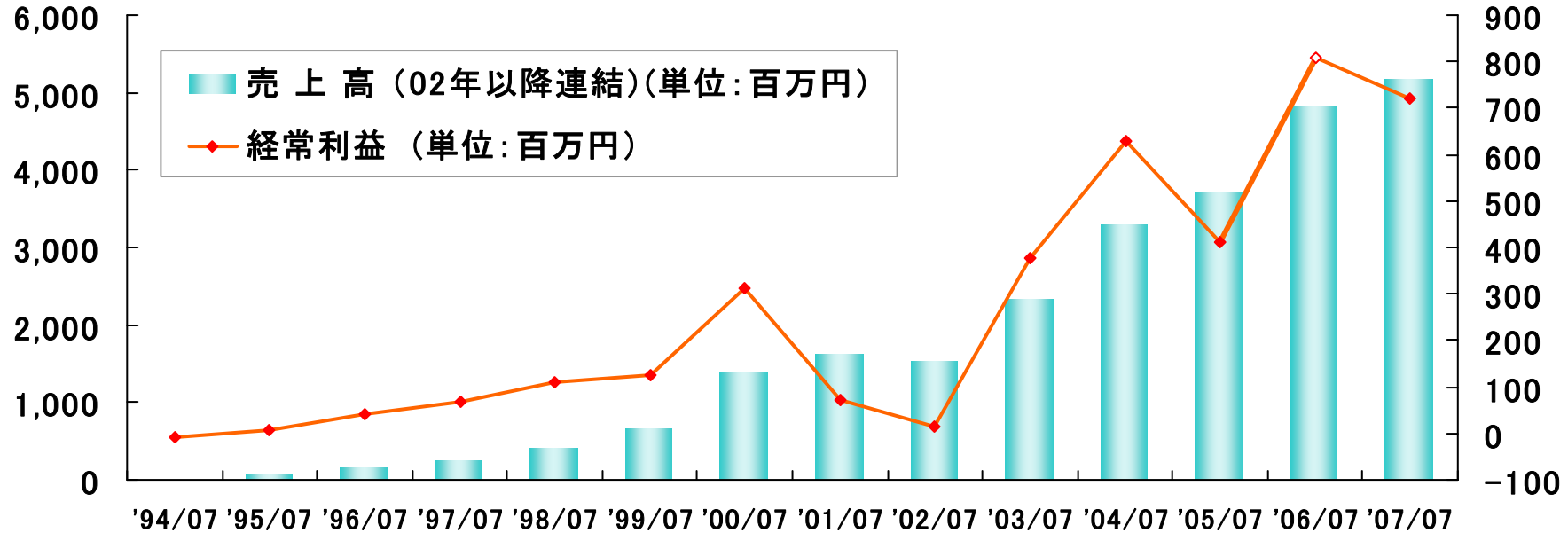
- 1992 創業
- 1993 シーシーエス株式会社設立
- 1994 画像処理用LED照明事業に特化
- 1999 CCS America Inc.(100%子会社)を設立(ボストン)
- 2000 東京営業所を開設(品川区高輪台)
- 2001 本社移転(現在の本社)
- 2003 上海事務所を開設(中国 上海市)
- 2004 CCSロジスティックセンターを開設(京都市伏見区)
ジャスダックに上場
RDV(S) PTE LTD社を子会社化(シンガポール)
CCS Europe NV(100%子会社)を設立(ベルギー)
- 2005 植物育成実験プラントを稼動(千葉県野田市)
名古屋テストングルームを開設(名古屋市西区)
- 2007 東京営業所を拡充(8階増床)
生産拠点と物流拠点を統合し、生産センターを開設(京都市下京区)
植物育成実験プラントを譲渡
仙台テストングルームを開設(宮城県仙台市青葉区)
- 2008 新研究所「光技術研究所」を開設(京都市上京区)

参考資料:LEDの開発の歩み

1960年代	赤色と黄緑色が開発される
1970年代	赤色と黄緑色と黄色が実用化される
1993年	青色が製品化される
1995年	純緑色の開発により、 光の三原色がそろそろ(赤・青・緑色)
1996年	白色が開発される

売上高 / 経常利益率の推移(連結)

	94/07	95/07	96/07	97/07	98/07	99/07	00/07	01/07	02/07	03/07	04/07	05/07	06/07	07/07
売上高	11	64	152	260	423	668	1,404	1,635	1,523	2,342	3,290	3,719	4,830	5,185
経常利益	-8	7	41	69	111	125	311	71	13	376	628	413	808	721
従業員数						35	57	97	80	98	102	154	161	187

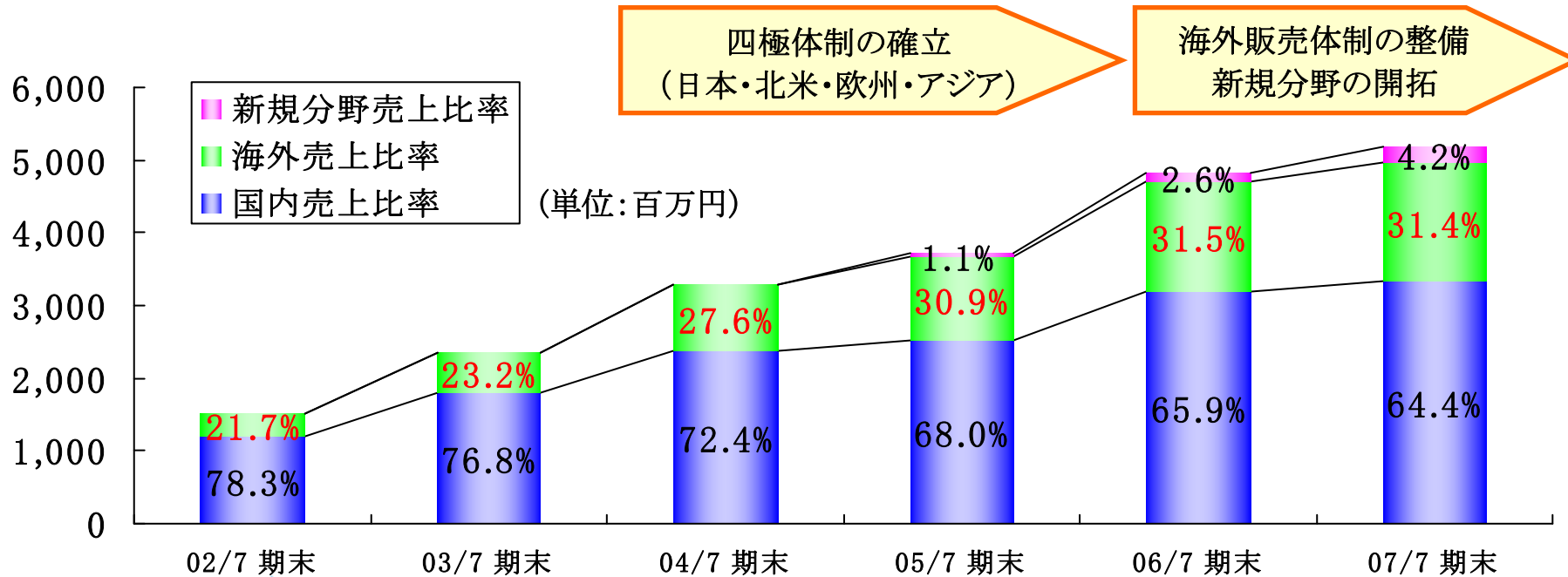


(単位:百万円)

事業別売上高の推移

(単位:百万円)

	02/7 期末	03/7 期末	04/7 期末	05/7 期末	06/7 期末	07/7 期末
国内売上高	1,193	1,799	2,382	2,529	3,182	3,337
海外売上高	330	543	908	1,148	1,521	1,630
新規分野売上高	0	0	0	42	127	218
売上高合計	1,523	2,342	3,290	3,719	4,830	5,185



販売体制

[工業用LED照明事業]

販売代理店を中心とした販売網

シーシーエス株式会社

システムインテグレーター
商社
装置メーカー
画像処理メーカー

<エンドユーザー>
電子・半導体業界
自動車業界
三品業界
（食品・薬品・化粧品）
その他各業界

一部直接販売